

[前のno.へ](#)[次のno.へ](#)[市数研のTOPへ](#)

市数研だより

平成16年1月27日発行

no. 5

熊本市中学校数学教育研究会

「先生方明けましておめでとうございます。」というあいさつも、かなり時期をはずしてしまいました。毎日寒い日が続いています。先生方は毎日熱い情熱をもってご活躍のことかと思えます。平成16年。いよいよ県大会の年となりました。市数研も新しい年を飛躍の年にしようと熱く燃えています。先生方、数学教育を熱く語りましょう。

第6回定例会の報道です

1月の市数研定例会が、1月22日（木）、藤園中学校図書室で行われました。新年最初の定例会。「出足はどうか？」と不安な声をよそに、25名もの先生方が参加されました。いつもより多めに準備していたお茶が足りなくなるほどでした。会の中では、県大会に向けて各学年の議論が夜遅くまでつづけられました。

1 オープニング

市数研会長の稲津孝夫校長先生（桜山中）より

「とても寒い一日となりました。今年はいよいよ熊本市で県大会開催の年となりました。その県大会の期日は10月27日に決定しました。がんばっていきましょう。」

市の教育センターから、先生方の作られた指導案やワークシートなどを集めてたいという呼びかけがありました。

日頃の先生たちの取り組みをぜひこの機会に出していただければと思います。」



（ご覧ください。多くの先生方で熱気むんむんの雰囲気です）

2 来年の県大会に向けての検討

研究部長の桃崎先生（武蔵中）より

市数研の進む道」と題して提案がありました。

「県大会の研究テーマを事務局で検討し、「粘り強く思考する生徒の育成をめざした『鍛える』数学教育」としました。

今の数学軽視の風潮が、思考力育成の場を軽視しているのではないかと。子どもたちが粘り強く課題に挑戦し続けるために何かをやらなければならないのではないかと。私たち教師の「鍛える」姿勢も減退しているのではないかと。そんな思いを、このテーマで表してみました。」

具体的な教材、授業例を提示されながら熱い思いを語っていただきました。



また、県大会当日の講師として埼玉大学の岡部先生に内諾を得たという、ビッグニュースも報告されました。

県大会の授業予定の先生方に、今の想いを語ってもらいました。

山内先生（錦ヶ丘中）

「事務局の案に沿いながら自分のやりたいことをやってみたい。

自分としてはデジコンの活用に興味がある」

北里先生（東町中）

「岡部先生が講師という話を聞き、本を買って読んでみた。自分は『鍛える』というキーワードから、学習訓練もふくめた気持ちで授業に臨みたい。子どもたちが苦手意識を持っている文章題の指導法などを考えている」

野田先生（西原中）

「『鍛える』という言葉の定義をもう少し具体的にしたいと思う。じっくり考えるさせるとのことなどだと思う。自分としては削減された内容の中でも授業のネタを探して授業を試してみたいと思っている」

猿渡先生（井芹中）

「現段階では放物線の学習で美しさや不思議さを感じさせてみたいと思っている。参考になるやり方、指導例があればぜひ教えてほしい」

出口先生（日吉中）

「小学校の児童を相手に授業をするということで、身震いがする思いです。テーマをうけてどんな授業ができるのか考えていきたい」

園川先生（西山中）

「今回の事務局からの提案で仮説などをみて、かなり具体的なイメージができた。そのイメージに沿うように、方程式などの単元で考えている」

事務局長の宮崎先生（藤園中）より県大会に向けての組織などについて提案がありました。

「本番までに研究授業は2ないし3回はとりたい。近隣の学校ごとに研究ブロックを組織して授業研究を進めてほしい。幾ばくかの予算も各ブロックに割り当てたいと考えている。」

提案された研究組織の案です



	1 年 A	1 年 B	2 年 A	2 年 B	3 年 A	3 年 B
授業者	出口先生 力合中	園川先生 西山中	北里先生 東町中	山内先生 錦ヶ丘中	猿渡先生 井芹中	野田先生 西原中
チーフ	小田先生 白川中	澤田先生 武蔵中	石塚先生 出水中	武田先生 錦ヶ丘中	出崎先生 京陵中	藤澤先生 白川中
サブ	楠田先生 藤園中	堀之内先生 楠 中	東 先生 帯山中	大橋先生 出水中	工藤先生 北部中	田口先生 飽田中

担当校	城南中 江原中 託麻中 天明中 力合中 日吉中	花陵中 西山中 三和中 城西中 芳野中 河内中 飽田中	湖東中 常山中 東野中 錦ヶ丘 東町中 長嶺中	二岡中 東部中 西原中 武蔵中 龍田中 桜木中	京陵中 竜南中 楠 中 清水中 井芹中 北部中	出水中 白川中 藤園中 江南中 桜山中 出水南中
-----	--	---	--	--	--	---

3 県大会に向けての学年別の検討会

学年ごとにグループになって、授業案などを検討しました。



それぞれの話し合いの様子について、各チームの先生から報告がありました。

- ・ 園川班 関数領域ではなく、子どもたちの理解度が落ち込んでいるといわれる「文字と式」か「方程式」の領域で題材探しをという方向で進んでいる。
- ・ 山内班 デジタルコンテンツで、熊本市は教室でインターネットを使える環境も準備できているので、まずデジコンをいろいろと調べてネタを探していきたい。
- ・ 北里班 ひとつの単元をやるのか、課題学習にするのかを迷っている。
みんなでネタをもちよりたいと考えている。
- ・ 野田班 教科書にのっていないもの、発展的な課題を取り上げたい。
「立体の切断」や「2つのコインの回転の問題」「正五角形の作図」「パスカルの

角形」「あみだくじ」などの題材を今検討中です。

・猿渡班 放物線の性質を、紙を折る作業を通じて学ばせる展開を考えている。
学習活動を工夫し、「鍛える」「ねばり強く考える」のテーマに迫ることができない
かと思案中である。

・出口班 小学校で授業するからには、小学校の先生に負けないような授業をしなければい
けない。数学のおもしろさ楽しさを感じさせたい。小学校の先生をあっといわせ
る
ような授業をしたい。例えば、数学と理科の合科的な授業や、中学校の課題学
習を小学生に教えてみるとどうだろう。

4 ミニ講座

村上先生（城西中）から授業のネタ、ワンポイントアドバイス



『比例や反比例が具体的に役立っている例を何とか生徒に伝えようといういろいろ探してみた。歴史的な例として天体における「ケプラーの第三法則」やレオナルド・ダ・ビンチが絵画を描くときに反比例を利用していたこと、三平方の定理の不思議など、がありますよ。』

久しぶりの定例会参加、突然のミニ講座の依頼にもかかわらず、さすがの存在感でした。

5 エンディング

まとめ（副会長福井校長：井芹中より）

久しぶりの市数研です。初対面の先生もいたりして浦島太郎の状態です。
県大会の授業者がスムーズに決定しました。授業者が決まってしまうと、えてして、授業者
任せになりがちなので、みなさんで意識してもっと仲間を集めましょう。

先ほど教育センターから資料の提供の呼びかけがありましたが、みんなで宝を共有するた
めに大切なことです。自分の財産を熊本市の財産にすることです。

以上、1月定例会の報道でした。

子ども輝き授業研究会・市数研忘年会がありました

12月8日、「子ども輝き授業研究会」が長嶺中、二岡中、東部中の3校を会場に行われました。各会場とも生徒の活動が活発な授業だったようです。授業者の成松先生、江野先生、松崎先生、すてきな授業をありがとうございました。また、助言をいただいた山本校長先生、阿部校長先生、江尻校長先生、運営に関わられた先生方、ありがとうございました。

その夜は、市数研忘年会がチサンホテルで行なわれました。数学の校長先生もたくさんご参加いただき、参加の先生方が「すごいことだよ」と言われていました。輝き授業研の授業者の先生や、県大会で授業をされる予定の先生も多数参加され、数学の団結ぶりがうかがえました。夜がふけるのを忘れるほどの盛大な会となりました。

お知らせ・お願い

市教育センターより先生方が作られた指導案やワークシート、資料などを提供してほしいという呼びかけがありました。

提供できるものをお持ちの先生は、事務局の宮崎先生（藤園中）までご一報ください。

次回2月の定例会は2月19日です。県大会を控えていますので、例年に行っていない3月も3月18日に定例会を行います。どうぞ、ふるってご参加ください。

定例会への多数の先生方のご参加をお願いします！！

各学校から1名、是非お願いします！

皆さんと共に歩む市数研です。

（文責：京陵中学校 出崎友英）